

認知症強化型地域包括支援センター運営事業 事業計画書（平成29年度）

		北区地域包括	都島区北部地域包括	福島区地域包括	此花区南西部地域包括	中央区北部地域包括	西区地域包括
区認知症推進 会議の事務局	組織代表者級会議	・年2回程度	・年2回程度	・未定	・年2回程度	・年2回程度	・年2回程度
	実務者レベル会議	・年4回程度	・年4回程度	・年4回程度	・年4回程度	・年6回程度	・年4、5回程度
地域包括支援センターや認知症初期集中支援推進事業の取り組みへの後方支援		<p>◎地域ケア会議で、認知症にかかる課題抽出等が行われる場合に参加し、認知症支援にかかる課題等の集約や分析等を支援する。</p> <p>◎チーム員会議に参加し、支援に取り組むに際しての助言や、チーム員・地域支援推進員の活動にあたり必要な地域資源情報等の提供を行う。また、地域包括支援センター・ランチ等、関係機関との連携を調整する。</p> <p>◎区内包括・ランチをはじめとした関係機関や専門職を対象に、認知症高齢者等支援にかかる実践事例検討会の企画調整を行う。</p>	<p>◎地域ケア会議で認知症にかかる地域課題抽出等が行われる場合に参加し、認知症支援にかかる課題などを集約や分析などを行い認知症推進会議に報告するなど情報の共有を図る。</p> <p>◎チーム員会議に参加し、支援に取り組むに際しての助言や、チーム員・地域支援推進員の活動にあたって必要な地域資源情報などの提供及び区内の他の地域包括支援センター・ランチ等関係機関との連携を後方支援する。</p>	<p>◎認知症初期集中支援事業の広報に対する後方支援として、福島区包括支援センターで発行している、「かいご・福祉情報ガイド」を各配布箇所へ持ち込む際に、認知症初期集中支援事業の周知案内をあわせて行う。</p> <p>◎総合相談の内容により、認知症初期集中支援事業の関わりがよいと思われるケースに対し、事業説明を行うとともに、相談に対し連携し関わり、支援する。</p>	<p>◎今まで行ってきた顔の見える関係作りを重視しつつ既存の問題解決に向けての会議や社会資源を活用し、関係支援者が、認知症初期集中支援事業が周知され活用できる基盤作りや支援の方向を見失わないような後方支援の実施を行う。</p> <p>周知のためのチラシ作りを行い配布する。</p> <p>食事会や包括の認知症出張研修時に参画する。</p> <p>オレンジチームと共同し、周知を行う。</p>	<p>◎認知症が関係する地域ケア会議へ参加し、課題抽出や分析について協力をを行い地域課題の傾向を把握・分析する。</p> <p>◎チーム員会議へ参加し、フォーマル・インフォーマルの地域資源情報提供と各関係機関との連携を支援する。地域支援推進員の活動を円滑にすすめるためのネットワークを構築する。</p> <p>◎様々な認知症対象者支援実践事例を集約し、関係機関や専門職向けの事例紹介・事例検討会の機会を持つ。</p>	<p>◎地域課題に見える化し、区役所と協働して関係機関との調整を行うなど、地域に潜在する認知症高齢者の発見力を高める役割を果たす。</p> <p>◎個別ケース支援のための医師会事務局等と、新たな関係機関との連携体制の構築。</p>
認知症高齢者支援にかかる統計情報等の収集・地域課題分析及び地域における取り組みの後方支援		<p>◆地域の認知症高齢者等の数などの統計情報や、関係機関が有する地域資源情報、区内の認知症支援の取り組み実績、地区診断情報等を収集。認知症支援の地域課題を整理・分析し、収集した情報とともに区認知症施策推進会議等に提供する。</p> <p>◆認知症にかかる課題に対して、関係機関と連携・協働し、取り組みが円滑に実施されるよう後方支援を行う。</p>	<p>◆認知症高齢者の数、関係機関が有する地域資源情報その他の統計情報や区内の認知症支援の取り組み実績及び地域診断などの情報を収集し取り組みに必要な地域課題を整理・分析し、地域の取り組みを支援する。</p> <p>◆認知症にかかる課題に対し、関係機関と連携・協働し取り組みが円滑に実施されるよう後方支援を行う。</p> <p>◆区保健福祉センターの地域活動保健師との連携を強化し地域診断の情報を収集する。</p>	<p>◆見守り相談室、あいあいオレンジチームとも連携し、地域で実際に認知症の人に関わっている人達に対し、他地域との交流会や、勉強会の開催をし、認知症に対する意識を高めることで、地域での課題解決にむけ支援する。</p>	<p>◆区役所や関係者と協働で、実績を含め認知症関係のデータを収集、可視化して、取り組みに必要な地域課題を整理、分析する。</p> <p>◆認知症にかかる課題に対し関係機関や関係者と連携、協働し具体的な解決策が実施されるよう、事前の調整や、準備等を勧めていく。</p>	<p>◆一般的な認知症高齢者等のデータと区のデータの比較分析を行うとともに、各関係機関が有する有効性のあるケア手法などについても情報収集を行う。整理された情報については区認知症ケアパス作成にも活用する。</p> <p>◆明確化された様々な課題について認知症に関わるネットワークにおいて取り組みを实践することができるよう各種会議等で情報提供する。</p>	<p>◆地域包括支援センターと連携し情報収集を行い分析する。</p> <p>◆地域の特性に合わせた、支援者の対応力を強化する。</p> <p>◆各地域の支援者を対象とした、認知症ミニ講座等を企画・運営する。</p>

		港区南部地域包括	大正区北部地域包括	天王寺区地域包括	浪速区地域包括	西淀川区南西部地域包括	淀川区東部地域包括
区認知症推進 会議の事務局	組織代表者級会議	・年2回程度	・年2回程度	・年1回程度	・年1回程度	・年2回程度	・年2回程度
	実務者レベル会議	・未定（28年度実績6回）	・年4回程度	・年3回程度	・年6回程度	・年6回程度	・年12回程度
地域包括支援センターや認知症初期集中支援推進事業の取り組みへの後方支援		◎区内の地域包括支援センター・事業所・施設等に認知症対応力向上のための支援（講演会・研修会への参加、情報提供や制度の説明、効果的なケア手法の紹介など）を行う。	◎認知症に関する取り組みに対して、広報・普及啓発活動に協力する。チーム員会議や区内の認知症に係る課題抽出の会議に参加し、必要な情報提供を行い、課題分析等を支援する。	◎地域ケア個別会議について、認知症の課題が見られる事例に積極的に参加し、記録をまとめ、課題について整理・分析し、集約を地域包括支援センターとともに 行う。 ◎チーム員会議に参加し、支援検討する際に必要な助言を行う。また、課題に応じて必要な社会資源につながるよう情報提供する。 ◎成年後見制度の活用が必要な場合は、早期に地域包括支援センターと連携できるよう調整する。 ◎医師会と地域包括支援センターが共催する認知症事例検討会について、企画段階から参加し、企画調整・準備をともに 行う。	◎包括ランチ連絡会や、認知症初期集中支援推進事業のチーム員会議に参加し、取組み内容の進捗状況を把握したり、関わっている事例を把握したりし、内容に応じて連携の橋渡し役を担う。 ◎定期地域ケア会議に参加し、認知症事例において連携できるよう多職種と顔の見える関係をつくる。	◎認知症初期集中支援事業の役割を十分熟知し、地域包括支援センターやランチなど既存の連絡会などを通じて伝えていく。 ◎認知症カフェなど開設の後方支援活動を行う ◎連携を蜜に取り合って、陽だまりと並行し、ケース支援、総合相談、チームアプローチを図る。	◎対象者のケアについての情報提供及び支援の内容についての報告。連携した支援についての検討を行う。 ◎区内の高齢者人口、高齢化率の地域別の把握、認知症高齢者数（日常生活自立度Ⅱ以上）の把握、要介護認定者数の把握と市域の問題等の集約・分析を行う。 ◎チーム員・チーム医師、地域支援推進員の業務や活動に対しての助言や地域資源情報の提供、地域包括等との連携の支援を行う。 ◎事例検討会の開催に向けての支援を行う。
認知症高齢者支援にかかる統計情報等の収集・地域課題分析及び地域における取り組みの後方支援		◆区内で平成28年4月1日現在要介護認定を受けている方が4,103人、認知症高齢者等日常生活自立度がⅡ以上の方が1,448人。区内には他にも潜在している認知症高齢者が多数居ると思われるので、各関係機関と連携・協力し情報収集を行う。また、地域役員や地域住民・各関係機関と協力しながら地域課題について把握・分析を行い、それぞれの地域・住民の課題を解決できるような体制作りを行う。	◆区内の認知症支援に係る会議や取り組みに参加し情報収集を行う。 ◆地域で行われている取り組みに対し、専門的立場から情報提供や活動支援を行う。	◆認知症初期集中支援推進事業の地域每周知状況について集計し、相談状況と比較しながら、手薄な地域が見られる場合は、周知強化を働きかける。 ◆認知症施策推進会議の場において、認知症初期集中支援推進事業チーム員が支援する対象者数について、高齢化率や独居率を併記しまとめる。 ◆地域包括支援センターにおける認知症相談件数との比較表を作成・報告し、参加者やスパーバイザー等の意見を集約しまとめる。認知症初期集中支援推進事業の周知活動と見比べながら周知に関する課題を検証する。	◆認知症高齢者にかかる統計情報をもとに、地域包括支援センターが地区診断した内容や、総合相談からの傾向、地域ケア会議から見えてきた課題、昨年度の認知症初期集中支援から見えてきた浪速区の課題を分析する。さらに認知症に関して包括が地域で取組んだこと、地域で行われている認知症に関する取組み内容を把握する。 ◆地域包括支援センターのこれまでの活動内容や区内の認知症に関する取組について把握し、次年度以降の取組みや後方支援につなげる。	◆医師会が主として開催されている「に～よん地域包括ケアシステム委員会」への出席を継続し、事例検討会が開催できるよう働きかける。 ◆区包括、区社協見守り相談室、佃ランチに相談しながら、佃地域への地域活動、民生委員協議会へ参加する。	◆認知症に関係した情報の収集と分析を行い、実施する講演会や研修会での資料として活用する。 ◆認知症初期集中支援チームの活動分析を行い、地域課題を抽出。原因調査と分析、解決策の立案、解決策の実施、結果評価が出来るように、関係する区、地域、地活協、自治会、民生委員会等に包括と連携して後方支援をする。進捗管理を行い、課題を整理し、区認知症施策推進会議へ報告する。

		東淀川区地域包括	東成区北部地域包括	生野区地域包括	旭区東部地域包括	城東区地域包括	鶴見区地域包括
区認知症推進 会議の事務局	組織代表者級会議	・年2回程度	・年2回程度	・年2回程度	・年2回程度	・年2回程度	・年4回程度
	実務者レベル会議	・年9、10回程度	・年4回程度	・年12回程度	・年4回程度	・年22回程度	・年6回程度
地域包括支援センターや認知症初期集中支援推進事業の取り組みへの 後方支援		<p>◎認知症にかかる地域課題抽出が行われる地域ケア会議等へ参加し、課題をともに検討する。また、それらの課題に向けた取り組みを実施するにあたっては実施団体への活動支援を行う。</p> <p>◎チーム員会議等に参加し、支援方針をともに検討する。また、同事業の推進にかかる活動が円滑に進むよう各種団体との調整等の後方支援を行う。</p> <p>◎区役所、地域包括支援センター、ランチ、オレンジチームを対象とし、単独機関では開催が難しい認知症支援への取り組みについて事例検討を交えた研修会等を開催する。医師会や各専門機関団体にも協力・参加を依頼する。</p>	<p>◎認知症課題を有するケースの地域ケア会議、地域課題抽出のための地域ケア会議への参加</p> <p>◎オレンジチームが実施する毎月のチーム員会議への参加</p> <p>◎若年性認知症の家族の視点で地域住民向けの講座を協働で実施予定。</p> <p>◎オレンジチーム関係者会議の共同開催や、包括とオレンジチームの役割を示した合同チラシの作成。</p> <p>◎認知症地域支援推進員と協働し東成区版の認知症ケアパス作成を行なう。</p>	<p>◎包括ごとに認知症支援に向けた課題の発見と取組支援を行う。</p> <p>◎ランチへは、認知症支援に向けた課題の発見と取り組みができるように後方支援を行う。</p> <p>◎認知症初期集中支援事業へは、担当職員のスキルアップや事業がスムーズに進行できるように後方支援を行う。</p>	<p>◎圏域内の認知症が起因の介入困難な事例など、地域ケア会議などで情報の共有や関係機関と一緒に支援内容の検討を行うなどの支援を行う。</p> <p>◎圏域内で、認知症の講演会等地域包括支援センターやランチと合同開催とする。</p> <p>◎認知症カフェの開催・運営を地域包括支援センター・ランチと一緒に支援を行う</p>	<p>◎各地域包括支援センターの開催する認知症にかかる地域ケア会議に参加し、それぞれの地域課題を整理し、共通する課題抽出を行う。</p> <p>◎区内の認知症支援の状況や社会資源等の情報提供を行う。</p> <p>◎認知症対応力向上のための研修会、講演会等の情報提供を行う。</p>	<p>◎地域ケア会議に参加</p> <p>◎認知症初期集中支援チームとともにチームの周知、啓発</p> <p>◎相談の少ない圏域に訪問し、埋もれている認知症の方の早期発見、早期治療、対応につないでいけるよう支援する（地域の会館や診療所、薬局、歯科等を訪問）。</p>
認知症高齢者支援にかかる統計情報等の収集・地域課題分析及び地域における取り組みの後方支援		<p>◆地域包括支援センター、ランチ、オレンジチームの活動へとつなげてもらえるよう、市や区からの情報や会議等から抽出された課題、取組み活動実績を整理・提供するだけでなく、広報・啓発としても活用してもらえるような情報提供を行う。</p> <p>◆整理した課題や情報、各種関係団体の取組みについて、広く住民に周知啓発を実施していただける媒体（区社協広報紙等）を活用する。また、地域包括支援センターやランチと協働し、認知症等にかかる啓発や相談窓口の周知を進めるためのパンフレットなども作成し配布する。</p>	<p>◆オレンジチーム、包括、在宅医療・介護連携コーディネーター、生活支援コーディネーター、区役所保健福祉課で地域支援事業4事業連絡会を定期的に実施し、その中で相談データや統計データを集め、課題を分析する。分析し見えてきた課題については、組織代表者級会議や実務者会議で報告・共有し、課題対応についても検討する</p> <p>◆キャラバンメイト連絡会、認知症カフェ連絡会、認知症実践者の会（区内事業所施設の実践報告会）実行委員会、認知症徘徊模擬訓練等の参加。</p>	<p>◆各種団体や機関及び地域から情報収集する。</p> <p>◆昨年度の認知症初期集中支援事業のデータ、国勢調査や行政の調査をもとに統計・分析をおこなう。</p> <p>◆実務者レベルの会議で課題発見に取組み、解決に向けた取組みを検討する。</p> <p>◆連合・町会単位で聞き取り調査を行い、情報の収集や課題分析を行う。</p> <p>◆介護の専門家だけではなく、地域関係者・住民自身が取組やすいような方法を住民や関係者と検討する。</p>	<p>◆初期支援チームが関わったケースの地域ケア会議に参加して地域の現状や問題点など課題収集を行い関係機関と連携・協働して取組みができるよう支援する。</p> <p>◆区内の各包括が認知症について抱えている問題や課題を抽出し分析を行う。また認知症初期チームが関わったケースについても分析を行う。</p> <p>◆地域住民を含め次世代に向け、認知症の理解を深めてもらうために認知症サポーター養成講座をキャラバンメイト連絡会と協働して開催する。地域の認知症サポーターに向け受講後のスキルアップの研修等も企画する。</p>	<p>◆行政や関係機関で報告されている区内の認知症高齢者に関する統計情報を収集、分析。区認知症施策推進会議に提供し課題解決、施策提言のために利用する。</p> <p>◆区認知症施策推進会議で明らかになった課題や、区内の認知症にかかる課題に対し、関係機関と連携・協働し、取組みが円滑に実施されるよう後方支援を行う。</p>	<p>◆自包括および、他の包括、ランチが主催する地域ケア会議に参加し、後方支援する。</p> <p>◆「認知症徘徊模擬訓練」を28年度に実施した地域とは別の地域でも実施する。また、他の包括圏域でも実施できるよう働きかけ、他包括での開催を後方支援する。</p> <p>◆会議、講演会で包括支援センター、認知症初期集中支援チーム等について周知、啓発し、認知症高齢者を支援する体制を作る。</p>

		阿倍野区地域包括	さきしま地域包括	住吉区地域包括	中野地域包括	長吉地域包括	玉出地域包括
区認知症推進 会議の事務局	組織代表者級会議	・年2回程度	・年2回程度	・年2回程度	・年2回程度	・年2回程度	・年2回程度
	実務者レベル会議	・年4回程度	・年12回程度	・年4回程度	・年10回程度	・年10回程度	・年4回程度
地域包括支援センターや認知症初期集中支援推進事業の取り組みへの後方支援		<p>◎地域ケア会議で、認知症にかかる地域課題抽出等が行われる場合に参加し、認知症支援にかかる課題の集約や分析等を支援する。</p> <p>◎チーム員会議に参加し、支援に取り組むに際しての助言や、チーム員・地域支援推進員の活動にあたり必要な地域資源情報の提供、関係機関との連携を調整する。</p> <p>◎月2回、沖田裕子氏に、オレンジチーム定例会議や、地域包括支援センターが対応している個別相談（若年性認知症も含む）について、対応・助言をいただく。</p> <p>◎認知症高齢者等支援にかかる実践事例検討会の開催、あるいは開催の企画調整を行う。</p>	<p>◎包括ごとに認知症支援に向けた課題の発見と取組支援を行う。</p> <p>◎ランチへは、認知症支援に向けた課題の発見と取り組みができるように後方支援を行う。</p> <p>◎認知症初期集中支援事業へは、担当職員のスキルアップや事業がスムーズに進行できるように後方支援を行う。</p>	<p>◎「小地域圏域での地域ケア会議」へ参加と認知症にかかる地域課題の抽出。</p> <p>◎オレンジチームか開催するチーム員会議への参加やケースの支援方針についての積極的に関わり、関係機関や地域包括支援センターとの連携がスムーズに行えるよう支援する。</p> <p>◎地域包括支援センター、ランチ、オレンジチームと連携し、認知症支援への事例検討等の研修会、情報交換等を行う。</p>	<p>◎チーム員会議や、地域ケア会議等へ参加する事で、それぞれの地域の特性を知りながら、小地域単位、包括単位、区単位、それぞれの単位での課題を考え共有する。</p> <p>◎今までの認知症施策に関する会議にランチは参加しておらず、会議の再編を機に、事例検討会に参加するよう呼び掛ける。</p> <p>包括・ランチ・認知症初期集中・区保健福祉センター等、コアなメンバーを中心に地域特性を生かした取組計画を検討する。</p> <p>計画の具体的な実施に向け、住民組織関係者を含め高齢者支援に関わる支援者と共に具体的な検討ができるよう調整する。</p>	<p>◎包括圏域ごとの課題を共有し、解決に向けた具体的な取り組みについて話し合いの場を設ける。他の地域の先進的な取り組みなど情報提供を行い、地域包括支援センターを支援する。包括圏域ごとの課題対応取り組み状況を集約・分析等を行い、区全体の認知症にかかる課題や傾向を見出し、実務者会議や代表者会議において報告を行う。</p> <p>◎チーム員会議や関係者会議等を通じて、認知症初期集中支援事業の進捗状況や、地域毎または区全体の課題を関係者で確認・共有を行い、必要な対策について協働で取り組めるように関係者間の調整を図る。</p>	<p>◎地域ケア会議（個別）への後方支援を行い、認知症に関する情報提供や社会資源の提供、医療機関への連携に関する支援を行う。地域課題を集約する場合には、事前に必要な情報を提供し会議開催への協力を行う。</p> <p>◎チーム員会議に参加し、連携に必要な情報提供や、対応に苦慮する事例に関して、解決方法についての地域ケア会議の共同開催への支援を行う。</p> <p>◎地域における対応力強化に向けた事例検討会議を、各地域包括支援センターや、区内ケアマネジャー勉強会、主任介護支援専門員連絡会と協働し開催を行う。</p>
認知症高齢者支援にかかる統計情報等の収集・地域課題分析及び地域における取り組みの後方支援		<p>◆区内の関係機関（地域包括支援センター、ランチ、在宅医療・介護連携支援コーディネーター、警察署、区保健福祉センターなど）より、認知症にかかる情報収集を行い、地域課題分析や地域における取り組みの支援を行う。</p>	<p>◆連合・町会単位で聞き取り調査を行い、情報の収集や課題分析を行う。</p> <p>◆地域や関係者と協働して取り組みができるようにする。</p> <p>◆介護の専門家だけではなく、地域関係者・住民自身が取組やすいような方法を住民や関係者と検討する。</p>	<p>◆地域包括支援センター、区社会福祉協議会などが把握している地域診断や、行政の統計情報を収集し、オレンジチームの活動へとつなげてもらえるよう、情報や会議等から抽出された課題、取組みを整理、分析し、情報提供を行う。</p> <p>◆整理した課題や情報、地域における取り組みなどについて、広く住民に周知啓発を実施するよう、ホームページや紙媒体を活用しフィードバックする。</p> <p>◆オレンジチームや地域包括支援センター、区社協と連携し、認知症カフェや認知症サポーター養成講座において、啓発や認知症相談等を実施する。</p>	<p>◆H28年度からの取り組み課題となっていた区内の認知症高齢者支援に関わる機関で合同での地区診断（地域の特性のまとめ）の実施に向け、調整し、実施する。</p> <p>◆今年度は、それぞれの認知症施策推進会議で課題を出し合い、第2回目の組織代表者級会議でまとめ、次年度につなげるという仕組みを作ることを目標とする。取組み→課題を抽出→課題の共有→課題に対するの取り組みといった流れを作る。</p>	<p>◆認知症支援にかかる統計情報・地域課題の集約を行い、更に収集すべき情報の確認を行う。地域性が反映されるよう、各機関が実施する地区診断の統計処理を統一する。各機関で把握された認知症にかかる課題を集約し、区全体・地域毎の課題を分析する。</p> <p>◆各地域における必要な取り組みの検討を包括圏域ごとに行う。</p> <p>◆地域支援関係者と地域課題、今後必要な取り組みについて検討・共有する。</p> <p>◆各機関の協力体制、取り組みの進捗について適時確認を行い、必要な支援について各機関と連携のうえ実践する。</p>	<p>◆区役所に対して認定者数の把握。区保健師による高齢者相談における認知症ケースの統計についての依頼と分析。各地域包括支援センターにおける認知症相談数についてデータ収集と整理。</p> <p>◆包括が整理している認知症に関する社会資源に加え、認知症強化型地域包括支援センターが把握した情報を整理確認し、資源が不足している地域の分析を行う。</p> <p>◆区内で行われている見守り支援に関しての対応について整理し、各連携期間で行われている現状と課題について整理し、それぞれの強みが活かせるように、課題整理の地域ケア会議等に参加することで助言を行う。</p>